

令和4年度 兵庫県教員等の資質向上に関する協議会 主な意見

日時：令和4年10月31日（月）14:00～15:30

場所：兵庫県学校厚生会館大会議室（2階）

1 指標に関して

- ・教員指標 31 の食物アレルギー等の個別相談について、教諭の欄に○がついていないので、つけてほしい。
- ・教員志望の学生や現場の教員のモチベーションが高まるような、指標の見せ方を検討してほしい。

2 研修計画に関して

- ・Ⅲ選研修の「G特別支援教育に関する研修」について、通常学級に在籍する子どもも含めた、特別な配慮や支援の必要な子どもに対する専門性を上げていくという研修の枠組みにしてほしい。
- ・研修履歴に基づいた対話に基づく受講奨励について、現場の意見を踏まえ、現場の負担にならないよう配慮してほしい。また、実施方法についての研修を実施してほしい。
- ・15年次研修以降の教員にも、児童生徒の多様性を考慮した生徒指導の在り方等、新しい教育課題に対応する研修の機会を確保してほしい。
- ・スマートワークス研修を継続してほしい。ハラスメントの相談窓口担当向けの研修を検討してほしい。

3 研修内容に関して

- ・VODによる研修を実施する場合に、勤務時間内で実施できる体制づくりを進めてほしい。
- ・男性の育児参加休暇等の取得促進に向け、「第2次男女共同参画教職員支援ひょうごプラン」に基づいた管理職研修を実施してほしい。
- ・個別最適な学びや創造的な学び、障害のある子どもの自立に向けた取組の充実に向け、ICTを様々な活用してほしい。
- ・ICT端末を使うことだけが目的にならないよう、ICTを使ってどのようなねらいを達成するかという観点を研修に入れてほしい。
- ・子どもに与える影響力という観点から、非違行為を防止する研修を実施してほしい。
- ・子どもの権利条約やSDGsなど、社会的に注視されている課題を研修内容に盛り込むことを検討してほしい。
- ・初任者研修の中で、特別支援教育に関する研修の時間が少ない。通常の学級に在籍する特別な支援を要する児童生徒への支援の充実につながるのか。
- ・勤務時間や労働安全等、労働基準法について学びたいときに学べる研修を実施してもらいたい。
- ・働き方改革や個別最適な学びに向け、研修のオンライン化をもっと進めてはどうか。

4 その他

- ・授業中のICT機器のトラブル対応にその場ですぐに対応できるよう、専門家の配置等を検討してほしい。